

箱根組ニュース

第329号 2020年7月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

箱根組、三か月ぶりに再開！

コロナウイルス感染防止のため休んでいた箱根組は3月の塔ノ岳以来3ヶ月ぶりに出かけました。

6月21日(日)JR中央線東京駅7時55分発の青梅特快青梅行きに乗車。青梅駅に9時8分着。降り立ったのは太田、星野(幸)、布施、初参加の友定、神山、有倉、及川、和田、川名夫人、宗像夫人、岩岳、戸丸の12名。

駅を左に出ると公衆トイレがあり、その前が少し広くなっている。初参加の友定さんを紹介。身支度をして軽く体操をする。

9時35分、歩き出す。青梅線に沿って東方向に進む。左側に青梅市シルバー人材センター「シルバーショップよりみち」というのが目にとまった。地元の農産物を販売していたが、これから歩くので購入はあきらめる。梅やルバーブなどが並んでいた。

9時40分、突き当りを左に曲がる。すぐに道路は下を走る青梅線の線路を超える。道は左の線路沿いの道をやり過ぎし住宅の間をゆるく右にカーブして

らくだコースで青梅丘陵の緑の森を歩き、矢倉台まで楽しむ。

ゆく。まだ広い車道だ。左にテニスコートが二面あり何組かが練習をしている。車道は左に右に蛇行しながら徐々に登ってゆく。青梅鉄道公園の案内板の矢印が我々と同じ方向を向いている。道端の青と白のガクアジサイが雨上がりで美しい。

9時50分、登りきったところが十字路になる。小休止。左が青梅丘陵ハイキングコース方面。右は鉄道公園入口方面だ。早速何かおやつが出て、これも楽しみだ。白い花びらで真ん中が黄色いバラが咲いている。かなり大きな木になっている。どうやらノイバラの様だ。

9時57分、出発。ハイキングコースは西方向に延びている。このコースは雷電山、榎峠までつながっているなかなか長いルートだ。その先には有名な高水三山もある。今日はコースの三分の一ほどの矢倉台が目的だ。

ドクダミの花は通常は四弁だが珍しい五弁のドクダミがあった。

9時59分、左側に矢倉台まで3キロの標柱、これを通過。



10時4分、右に道が分かれている。右「風の子、太陽の子広場」と看板がある。

道はまだ舗装路だが緑が美しい森だ。10時7分、左側に金毘羅神社。ハイキングコースは神社の裏側を通って裏側から入ることになる。お詣りをして、小休止。ルートに戻る。

10時15分、富士山の展望地のポイント。写真があるが残念ながら曇っていて実際には見えない。白いトラノオが咲いている。

10時19分、右に第1休憩所がある。少し登るとなかなかの展望地だ。以前行ったつつじの名所の塩船観音の観音様が遠くに小さく見える。キノコ型の屋根

| | |
|-------|---------|
| 現在の収支 | 33428 円 |
| 繰越 | |
| 支出 | |
| 印刷費 | 1000 円 |
| コピー代 | 400 円 |
| 現在高 | 32028 円 |

| | |
|-------|------|
| 切手残数 | |
| 84円切手 | 123枚 |
| 40円切手 | 131枚 |

の付いた素敵な休憩所だ。そのまま進むとルートに合流。自然林の雑木林が美しい。ガクアジサイの白と水色がすがすがしい。

10時25分、右上に第2休憩所。大分高

い所にあるようなのでここはあきらめる。右方向には青梅の森0, 4キロと標識あり。

10時29分、石塔がある。右からは先ほどの第2休憩所からの階段が降りてきている。

川苔山のビューポイントの看板あり、残念ながら山は確認できなかった。

10時33分。「枝間の富士」の看板通過。

10時34分、叢雨橋(むらさめばし)。橋の下は昔、重要なルートだった青梅坂峠との事。

10時42分、左側に私設のような塔が現れる。私有地の様でよくわからない。

10時54分、右に第3休憩所。希望者数名が登る。手ごたえあり。しかしすぐに降りて合流。ルートは山道だが広めで歩きやすい道が続く。

11時4分、矢倉台まで1キロ地点。右に尾根道に付いたルートがあり希望者で登ってみる。なかなか長いルートで本線と離れていくよう

7月19日(日) 奥多摩の大岳山 (1266.5m)。

レギュラーコース 歩行5時間50分

(上り4時間、下り1時間50分)

※電車内、混雑時はマスクを使用しましょう。

奥多摩駅から鋸山経由で大岳山へ、南側から下り、白倉バス停まで、バスで武蔵五日市駅へ。

- 持ち物 マスク(予備マスク)、お弁当、飲料水、傘、雨具、スパッツ、非常食、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他
- 申し込みは 7月17日(金)までに

集合 7月19日(日) JR東京駅
中央線 中央特快6:03発 高尾行き
(前から3両目)

途中駅発

神田6:05 御茶ノ水6:07 四ツ谷6:12

新宿6:17(12番線) 中野6:22

三鷹6:30 国分寺6:37 立川6:43 着

青梅行き乗換6:52発 青梅7:30着

奥多摩行き乗換7:40発 奥多摩8:13着
(白倉発15:41 15:57 18:14 20:32)

交通費 東京～奥多摩 1265 円
白倉～武蔵五日市 550 円
五日市～東京 940 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



に感じたが、7〜8分でルートに戻った。
 11時28分、第4休憩所。ルートはすぐ右横にある東屋で、なかなかの絶景ポイントだ。座って青梅の町並みを見下ろすことができる。心地よい風が癒してくれた。

11時45分、矢倉台まで200m地点。ここに仮設トイレがある。小休止。
 11時52分発。ルートは真つすがだが、左側に下山予定の宮ノ平駅、日向和田方面への下りのルートがある。じわじわと登ってゆく。

11時57分、矢倉台休憩所標識を左に登ってゆく。最後の階段状の坂を上る。
 12時、予定通り矢倉台(383m)に到着。

立派な東屋の中や外に密集しないように気を付けながらの昼食。久しぶりのこの感じはやはりいいものだ。興に乗ってノーマスクで接近する会話の人にはちよつと注意もする。

持ち寄りのお弁当にお惣菜でいつものようににぎやかだ。ちよつとだけビール、及川さんの黒霧、コーヒータイム。

1時40分、下山開始。最後に出発した私の後ろから「戸丸さくん」と声がかかり「えっ、まだ誰かいた」と振り返ると、三田村さんと西尾さん(お二人とも何度か箱根組に参加している)が立っている。びつくり、サプライズ！我々のルートを知っていて、逆コースから歩いてきて、どこかで会えたらいいなと思っていたとの事。本当に驚いた。

1時50分、トイレのある分岐でトイレ休憩。

1時58分、再出発。少し戻って分岐から宮ノ平駅を目指す。しばらく平坦な道が続き、左にルートが曲がってゆくと下りになる。

2時50分、平地に下りる。数分で宮ノ平駅に到着。

7月5日(日) 戸倉三山に行きます。(歩行約8時間)
 (今熊山 505m、刈寄山687m、市道山 795m、臼杵山842m)

申し込み締め切り7月3日(金)

※電車、バス、混雑時はマスクをしましょう！

●持ち物 お弁当、非常食、飲料水(多めに)、雨具(傘、雨合羽)、着替え、ヘッドランプ、救急薬品、他

●集合 JR中央線 東京駅(2番線) 6時3分発

中央特快 高尾行き(前から3両目)

途中駅発 神田6:05 お茶の水6:07 四ツ谷6:12

新宿6:17(12番線) 中野6:22 立川6:43 着

(青梅線乗換) 6:57 発 武蔵五日市行き

武蔵五日市7:34着(バス乗り換え)(2番のりば)

7:54発 京王八王子行き 今熊山登山口下車(7:51)

※新型コロナウイルス対応
 ●マスクの使用について
 電車、バス、タクシーの車内、また混雑している所では必ずマスクを付けましょう。
 ●消毒用アルコール等も利用して安全を確保しましょう。
 山を歩いているときはお互いの距離を開けて歩きましょう。
 昼食時あまり密集しないように気を付けましょう。

